

沖縄の子ども達に学んでほしい！「花ブロック」を活用した算数教材が完成

～ 教育学科 坂井武司教授らが開発、沖縄県内の全小学校へ無償提供 ～

■沖縄県教育長を表敬訪問、教材の完成報告と贈呈**2025年6月13日(金)14:00～14:15 沖縄県教育委員会(沖縄県庁舎13階 教育長室)**

京都女子大学（所在：京都市東山区/学長：竹安栄子）は、発達教育学部 教育学科 坂井武司教授が、沖縄県の小学校教諭らの協力のもと、沖縄の「花ブロック」を題材にした算数教材を開発、2025 年 6 月 13 日（金）14 時より沖縄県教育委員会教育長を表敬訪問し、教材の完成報告と贈呈をしますので、ぜひご取材いただきたくご案内申し上げます。

■花ブロックの対称性に着目。算数教材としての教育的価値を見出し、ESD 教材としての活用も期待。

戦後普及した沖縄特有の建築素材「花ブロック」は、文化継承と地域貢献の両面で注目されています。

坂井教授は、子ども達が日常生活の中で親しみを持ちながら学びを深めることができると考え、「花ブロック」の形や配列を生かした、算数教材を開発しました。

坂井教授は、2022 年から沖縄県総合教育センター、琉球大学の森力准教授などに協力を仰ぎながら、小学 6 年生の算数科の単元「対称な図形」において「花ブロック」の教材化を進めてきました。2023 年に沖縄の南風原小学校と与那原小学校で、対称な図形の性質を学ぶ素材を「花ブロック」に置き換え、または追加した授業を展開。2024 年 5 月には、南風原小学校 屋良真弓教諭とともに同校で授業展開を再構築しました。その後、多くの小学校教諭が実践できるよう、屋良教諭と共に授業の単元計画、指導のポイントや成果などをまとめ、教材を完成させました。

「花ブロック」は算数以外の学びでも教材としての可能性があります。自分で考えた「花ブロック」の置物を木工製作する（図画工作科）、「花ブロック」工場の見学（社会科）、戦後の沖縄で独自に発展した「花ブロック」について調べる（平和学習）など、沖縄の子ども達が沖縄の文化を知り、継承していく助けとなる、ESD 教材（持続可能な開発のための教育教材）として活用が期待できます。



教材はこちらから
ダウンロードいただけます

■6 月 13 日（金）14:00～ 沖縄県教育長を表敬訪問

開発者の京都女子大学 坂井教授と九州ルーテル学院大学 赤井講師が、沖縄県教育長を表敬訪問し、教材の完成報告と贈呈を行います。また沖縄県内の全小学校に教材冊子を、小学校教員にリーフレットと教材 PDF を無償提供します。

- ・ 日 時 2025 年 6 月 13 日（金）表敬訪問 14:00～14:15、質疑応答 14:20～15:00（教育委員会）
- ・ 場 所 沖縄県教育委員会（沖縄県庁舎 13 階 教育長室）
（住所：沖縄県那覇市泉崎 1-2-2）※ゆいレール 県庁駅下車徒歩 3 分
- ・ 出席者 沖縄県教育委員会 教育長 半嶺 満
沖縄県教育庁 義務教育課 学力向上推進室 室長 上原正人、他 指導主事 1 名
京都女子大学 発達教育学部 教育学科 教授 坂井武司
九州ルーテル学院大学 人文学部 人文学科 児童教育専攻 講師 赤井秀行
※出席者は変更になる場合があります。

【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク（プランニング・ボート内）福岡・井上 Tel：06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 岡橋・竹縄 Tel：075-531-7054

京都女子大学 HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

※会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、6 月 12 日（木）17 時までに添付の返信用紙もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。

【返信先】FAX:06-4393-8216 もしくは、fukushima@planning-boat.com

京都女子大学 広報デスク（プランニング・ボート内） 福島・井上 宛

沖縄の子ども達に学んでほしい！「花ブロック」を活用した算数教材が完成

～ 教育学科 坂井武司教授らが開発、沖縄県内の全小学校へ無償提供 ～

■沖縄県教育長を表敬訪問、教材の完成報告と贈呈

2025年6月13日(金)14:00～14:15 沖縄県教育委員会(沖縄県庁舎13階 教育長室)

□ご取材

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	他 _____ 名様	
	(ムービー) _____ 台 / (スチール) _____ 台	
連絡先	TEL _____	FAX _____
	E-Mail _____	
当日のご連絡先	TEL _____	

《備考欄》 ご取材につきご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。

※会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、6月12日（木）17時までに添付の返信用紙
もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。